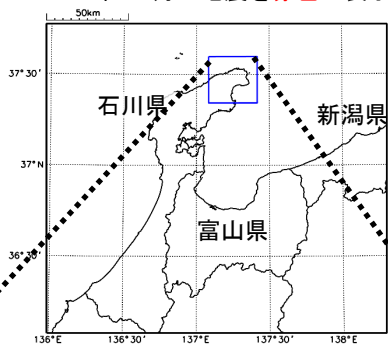


石川県能登地方の地震活動

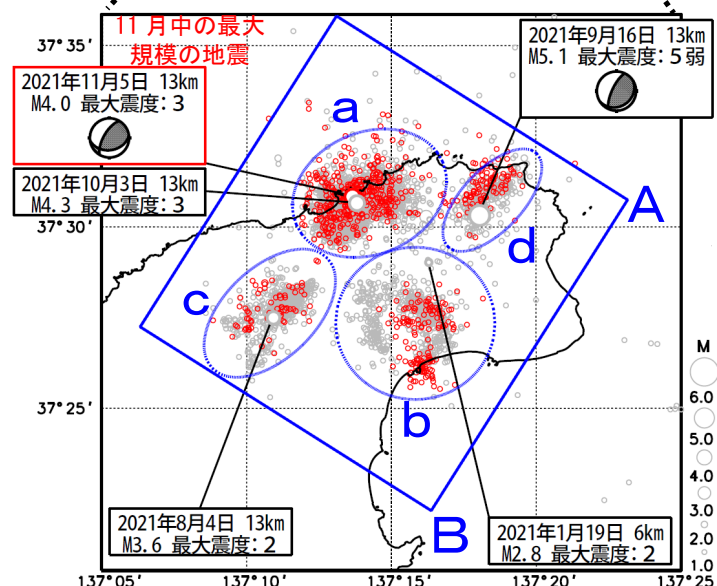
震央分布図
 (2020年12月1日～2021年11月30日、
 深さ0～25km、 $M \geq 1.0$)
 吹き出しは、各領域（a～d）内で最大規模の地震
 及び11月中の最大規模の地震
 2021年11月の地震を赤色で表示



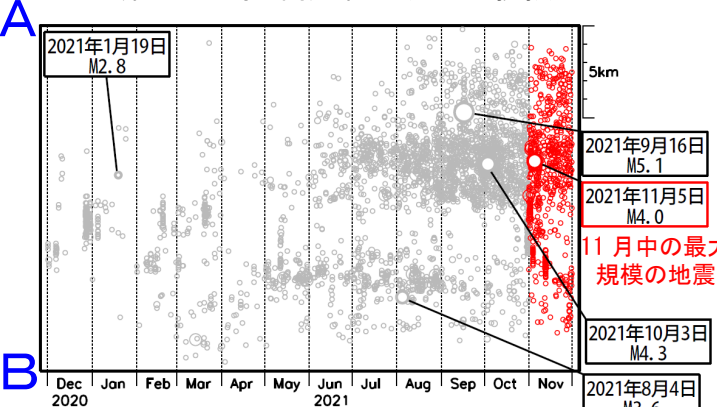
石川県能登地方(拡大図の矩形内)では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になっている。2021年9月16日にはM5.1の地震(最大震度5弱)が発生した。その後、地震回数は若干低下したものの、地震回数が多い状態が継続しており、引き続き活動は活発である。11月中の最大規模の地震は5日に発生したM4.0(最大震度3)の地震であった。

2020年12月以降の領域別の地震活動をみると、12月末頃から活発化した領域bの活動は4月以降鈍化傾向であるが、10月末からはやや増加した。領域bに続き活発化した領域cの活動も9月に入りやや低下している。それに対し、遅れて活発化した領域a及び領域dの活動は依然として活発であり、特に領域aの活動は活発である。2020年12月以降2021年11月末までに矩形領域内で震度1以上を観測した地震は61回(震度5弱:1回、震度4:1回、震度3:9回、震度2:16回、震度1:34回)発生し、11月中は10回(震度3:2回、震度2:6回、震度1:2回)発生した。

左図矩形内及び領域a～d内の
 M-T図及び回数積算図
 (2020年12月1日～2021年11月30日)



上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



矩形内の地震の月別震度別発生回数
 (2020年12月1日～2021年11月30日)

